

## 要修得単位の取り扱いについて

【基礎資格を取得した後大学その他の文部科学省令で定める機関において修得することを必要とする最低単位数】

(論点 3)

- それぞれの基礎資格を有し、かつ、勤務経験がある者に対して、大学等において、どのような内容を、どの程度修得することを求めることとするか。
- ① 学士の学位を有する者
  - ② 短期大学士の学位を有する者
  - ③ その他（保育士資格を有する者で、学士及び短期大学士のいずれも有していない者）

### 1. 科目の開設・履修方法をどのようにするか。

#### ① 既存の授業科目で対応する。

- ・ 既存の授業科目のシラバスを活用することが可能。【授業開設の効率性】
- ・ ただし、受講者は、現職保育士が大部分と想定されるため、夜間又は休日等に授業を開設することが必要。【大学側の負担】

#### ② 既存の教職課程に係る科目のエッセンスを含めた特別プログラムとする。

- ・ 新たに特別プログラムのためのシラバスを作成する必要がある。【大学側の負担】
- ・ 必要なエッセンスを幅広く学ぶことが可能。【受講者側の効率性】

(検討会議での主な意見)

- 幼稚園教諭・保育士の資格を取得するために、必ず押さえておくことが必要なエッセンス・骨格を示せることが、新しい幼保連携型認定こども園にとっても重要ではないか。
- 今回の特例のための特別プログラムを設けることが合理的ではないか。この特例プログラムが設けられるか否かによって、求められる内容や単位数が変わってくるのではないか。

## 2. どのような内容を、どの程度修得することを求めることとするか。

(検討会議での主な意見)

### 【教養教育】

- 学校の教員としての自覚を持つための科目や、保育士課程では必ずしも学ばない日本国憲法、情報機器の操作は学んでもらう必要があるのではないか。
- 大学・短期大学の卒業者であれば、日本国憲法や情報機器の操作は、ほぼ学んでいるのではないか。逆に専修学校等の卒業者の場合、日本国憲法を開講していない場合も想定されるから、教養として学んでおくことが必要ではないか。
- 情報機器の操作については、保育士の実務を経験する中でほぼ学んでおり、改めて履修する必要はないのではないか。
- (教員免許状は学歴要件があり、保育士資格は学歴要件がない中で) 学歴要件をどう加味していくのかは、慎重に議論をして整理をする必要があるのではないか。

### 【教職の意義等に関する科目】、【教育の基礎理論に関する科目】

- 現在の幼稚園教育要領や幼小連携等を見越した学校教育としての体系、生徒指導等の在り方に関わる内容、教育公務員としての在り方については学ぶことが必須ではないか。
- 特別支援、特に発達障害の子どもに対する知識は重要であり、学んでおいた方がよいのではないか。

### 【教育課程及び指導法に関する科目】

- 幼稚園教育の核となる環境を通しての教育、遊びを通しての総合的指導の徹底という観点からの学修が適当ではないか。
- いわゆる5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)に係る個別の指導法は不要であるが、「保育内容指導法」などの、総合的な幼稚園教育の指導法に関する科目を学ぶことは必要ではないか。

### 【生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目】

- 「教育相談」は、保育士養成課程においても「相談援助」「家庭支援論」等で学んでおり、かつ、実務経験でも基本的な知識やスキルは身につけていると捉えることができ、改めて学ばなくてもよいのではないか。

### 【教科に関する科目】

- 幼小連携の観点からも、国語や算数等の教科に関する科目について、1科目でもよいから学んでおいた方がよいのではないか。

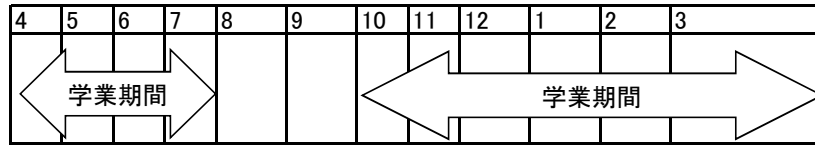
### 【教育実習】

- 幼稚園教諭が、学級担任として、ある程度の人数の子どもたちの学校教育をする立場であることを踏まえると、少しでも教育実習を行うことも必要ではないか。

要 修 得 単 位 の 取 り 扱 い に つ い て ( た た き 台 )

免許状の種類				一種免許状								二種免許状								
基礎資格				学士の学位を有する者								短期大学士の学位を有する者								学士及び短期大学士のいずれも有していない者
最低在職年数				特例を適用しない場合の要件								特例を適用しない場合の要件								
				3年 かつ 4,320時間								3年 かつ 4,320時間								
				8単位の場合		10単位の場合		12単位の場合		8単位の場合		10単位の場合		12単位の場合		追加で修得する単位				
				既存科目	特別プログラム	既存科目	特別プログラム	既存科目	特別プログラム	既存科目	特別プログラム	既存科目	特別プログラム	既存科目	特別プログラム					
教養科目(日本国憲法、英語コミュニケーション、体育、情報機器の操作)				8	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	2(日本国憲法)		
教科に関する科目				6	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—				
要 修 得 科 目	教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職の意義及び教員の役割	2	2	2		2		2		2		2		2				
			教員の職務内容(研修、勤務及び身分保障等を含む。)			「教職概論」 「教職原論」 「教職入門」など		2		2		2		2						
			進路選択に資する各種機会の提供等			—		—		—		—		—						
	教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	「教育原論」 「教育原理」 「教育基礎論」など	6	—	—		—		—		—		—		4				
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程(障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。)			「教育心理学」 「学習心理学」 「学習・発達論」など		—		—		—		—						
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項			「教育行財政」 「教育制度論」 「学校教育社会学」 「教育経営論」など		2		2		2		2			2			
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	「教育課程論」 「カリキュラム論」など	18	2	2	2		2		4		4		12					
			保育内容の指導法				「保育内容指導法」 「保育内容(健康)」 「保育内容(人間関係)」 「保育内容(環境)」 「保育内容(言葉)」 「保育内容(表現)」など		2		2		2			2				
			教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)				「教育の方法及び技術」 「教育方法学」など		2		2		2			2				
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解の理論及び方法	「幼児理解」 「幼児理解の理論と方法」など	2	—	2		2		2		2		2		2				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法			「教育相談」 「教育相談の基礎と方法」など			2		—		2		—		2						
教育実習				5	—	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—				
教職実践演習				2	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—				
教科又は教職に関する科目				10							0									
合計単位数				59	8	8	10	10	12	12	39	8	8	10	10	12	12	10/12/14		

## 保育士が勤務しながら単位を修得する際のイメージ



### 【パターン1】通学型

週1コマ履修する場合

2単位
4単位

2単位
4単位

年間取得可能単位数
4単位
8単位

→

8単位修得するために必要な期間	10単位修得するために必要な期間	12単位修得するために必要な期間
2年	2年半	3年
1年	1年半	1年半

### 【パターン2】集中型(春休み、夏休み、冬休み集中)

1日3コマ

5日(2単位)
4日(2単位)

5日(2単位)
4日(2単位)

5日(2単位)
4日(2単位)

6単位
6単位

→

1年半	1年半	2年
-----	-----	----

(参考)科目等履修に係る費用

通学生の場合:1単位あたり1万円あたりで設定している場合が多い。

通信制の場合:1単位あたり5~6千円で設定している場合が多い。

これに毎年の登録料、審査料等(3~4万円程度)を加えると、

通学生の場合 → 8単位の場合:12万円前後、10単位の場合:18万円前後、12単位の場合:20万円前後の費用がかかると予想される。

通信制の場合 → 8単位の場合:8万8千円前後、10単位の場合:14万円前後、12単位の場合:15万円前後の費用がかかると予想させる。